

連携フォーマット（案）について

基本的な考え方

◆連携フォーマット

- データを提供する連携機関のメタデータモデルをそのままの形（オリジナルのモデル）で受け入れる。
- 共通項目ラベルを付与することで、分野横断的な表示・検索を可能にする。

◆連携仕様

- 原則、ファイルベースでの連携を行う（OAI-PMHを必須としない。）
- 多様なファイル形式に対応する。

◆利活用フォーマット

- メタデータの利活用促進のため、分野共通で利活用可能なメタデータモデル（利活用フォーマット）を定義する。
- メタデータは、オリジナルモデルと利活用フォーマットの両方で保持する。



多様なデータ形式に対応、連携機関の作業負担の軽減を図りつつ、充分利活用できる仕組みを用意する

データ連携の流れ（イメージ）

データ提供機関側

※赤字がつなぎ役・アーカイブ機関の行う作業

①データベース定義

データベースの基本情報の提供/管理画面から入力

②データ登録

管理画面からファイルをアップロード/ファイルをWebに掲載

③ラベル定義

- ・ 共通項目ラベル候補の確認・修正
- ・ 個別項目ラベルを定義（メタデータの各項目の名称とそのデータ形式、定義の確認）

テスト環境で確認、必要に応じて修正

ジャパンサーチ（仮称）

（情報をもらいジャパンサーチ側で登録も可能）

- ・ 提供されたメタデータをそのまま登録
- ・ メタデータアナライザーでデータ解析
- ・ 共通項目ラベル候補を提示

共通項目ラベル：提示された候補の確認のみ
個別項目ラベル：入力画面でExcel等を受け付けて画面で入力する必要を無くす、元データから簡単にコピペできるようにする等の省力化を検討中

公開

- ・ 利活用フォーマットへの変換（マッピング）

◆ データベース基本情報の提供

必須項目	ID	データベースのID（ジャパンサーチ側で付与）
	名称（日/英）	データベースの名称
	タイプ	データベースが扱うコンテンツの分野。選択式
	メタデータの権利表示	例外の場合のみ記載。 原則は、CC0（著作権のあるもののみCC BYでも可）
	コンテンツの権利表示	対象のデジタルデータの権利情報。テキスト
	コンテンツの権利区分	選択式のコンテンツの権利情報
	組織名（日/英）	データベースの所有者の名称
任意項目	説明（日/英）	データベースの説明
	URL	データベースのURL
	組織URL	データベースの所有者のURL
	カテゴリ（サブタイプ）	データベースが扱うコンテンツの主題。テキスト

連携フォーマット ②データ登録

◆メタデータ項目

メタデータ項目は自由だが、最低限の必須項目（ID、タイトル等）がある（⇒詳細は「③ラベル定義」参照）

◆連携方式 ※OAI-PMHは、大量かつ高頻度の場合に想定

ファイルのアップロード		管理画面から、手動でファイルをアップロードする方法
ファイルをWebに掲載	ファイル取得	Web上にファイルを掲載し、管理画面でそのURLを指定すると、ジャパンサーチ（仮称）側がファイルを取得しに行く方法
	ファイル定期取得	上記のファイル取得を、指定した日時に自動実行し、データを自動更新する方法

◆対応ファイル形式

TSV・CSV	文字コードはUTF-8。同じデータ項目であれば複数ファイルも可。
XLSX	複数シート・結合セルには対応できない。XLS非対応。
JSON	1行1レコードのJSON Lines形式を推奨。他の構造にも対応予定。
XML	1行1レコード形式を推奨。他の構造にも対応予定。

連携フォーマット ③ラベル定義

◆ 共通項目ラベルを付与する項目

必須項目	ID	オリジナルデータ内での一意のID（管理番号）
	名称/タイトル	レコードの名称。検索結果表示に使われる
あれば必須で付与する項目	名称/タイトルヨミ	レコードの名称の読み（カタカナ・平仮名共）
	名称/タイトル英語	レコードの英語名称又はローマ字
	最終更新日	データの最終更新日（日付型）
	URL	レコードのリンク先のURL（つなぎ役と提供元共）
	サムネイル画像URL	サムネイル画像のURL
	コンテンツURL	デジタルコンテンツのURL
	提供者	オリジナルのコンテンツの提供者
	コンテンツの権利表示	データベース定義の情報と異なる場合のみ
	寄与者（人物）※	作者、発行者、出演者など
	時間（日付）※	制作年、対象時期など
	場所 ※	発行地、制作地など

※あれば原則として付与するが、分野の特性に応じて付与しない場合もありうる。

◆ 個別項目ラベルの定義

（オリジナル）ソースデータの項目名とそのデータ形式、定義の確認を行うのみ。